

第24回災害対策本部会議における知事コメント

令和8年熊本地震の発災から、明日で3週間を迎えます。改めまして、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表します。

また、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。皆さまに、一日でも早く安心した暮らしを取り戻していただくことができるよう、引き続き、全力で取り組んで参ります。

さて、先ほど防衛省様からお話がありました「はくおうⅡ」の宿泊支援については、これまでに217名と、非常に多くの皆さまに御利用いただき、大変多くの好評の声をいただいていると伺っております。いわゆる2次避難の一手手前の1.5次避難のような感覚でご利用いただき、避難生活で疲れた心と体を癒していただきたいと思います。

また、八代市と氷川町で緊急公費解体が開始されました。これは、二次災害の恐れや、周辺的生活環境への影響が見込まれる建物を、罹災証明の発行前でも、緊急的に公費で解体できる制度です。県では、公費解体に取り組む市町村を、引き続き支援して参ります。

さらに、八代市を中心に、約1万9千戸の断水が解消されたといううれしい報告がありました。国交省をはじめとした関係機関の皆さまのご尽力に感謝申し上げますとともに、8月中の全ての応急復旧の完了を目指し、引き続きよろしくお願いいたします。

そして、昨日は、林総務大臣に被災地を視察していただくとともに、私との意見交換のお時間もいただきました。林大臣からは「技術職を含めた応援職員の中長期派遣の調整を進める」という、非常に心強いお言葉をいただきました。復旧・復興を迅速に進めるためには、専門人材による息の長い御支援が不可欠です。総務省の皆さまには、引き続き、お力添えをお願いしたいと思います。

また、先ほど厚労省様からお話がありましたように、上野厚生労働大臣にも現在、被災地を回っていただいております。この後、意見交換のお時間もいただいておりますので、被災地における医療・介護・福祉の課題や、必要な支援などについて、私からも大臣にお話させていただきたいと思います。

さらに、本日は旅行業界や飲食業、農業、林業など、様々な業界団体の皆さまがご要望にいられて、意見交換をいたしました。熊本地震に伴って各業界が抱えている課題や必要とされる支援など、現場の声を直接伺いました。県として、しっかりと受け止めるとともに、できることから、迅速に対応して参りますので、国の関係機関にもぜひご協力をお願いいたします。

そして、明日からの2日間、復旧・復興に関する国への緊急要望を行って参ります。被災された方々の生活再建はもちろんのこと、インフラの復旧や、教育、福祉、産業、観光、農林水産業など、幅広い分野において強力な御支援をいただくことができるよう、熊本の実情と県民の皆さまの声を、国に届けて参ります。

最後になりますが、皆さまも御承知のとおり、昨日、有明高校が劇的な大逆転勝利により、甲子園で初のベスト8に進出するという大変うれしいニュースがございました。被災された皆さまに元気と勇気を与えていただいていることに感謝申し上げますとともに、これからも熊本を盛り上げていただきたいと思います。明日は準々決勝です。皆さまで全力で応援してまいりましょう。頑張ってください！

明るい話題を活力にして、私たちも復旧・復興に向け頑張っていきましょう。よろしくお願いいたします。